



横断幕のもとで模範演舞される楊麻紗先生

養心

第6号
 2008年12月31日発行
 NPO法人 太極拳養心会
 発行人 楊 麻紗
 事務局 〒164-0003 東京都中野区東中野 1-11-16-508
 TEL 03-3365-5868 FAX 03-3365-5118
 ホームページ www.taikyokuken.jp
 題字 楊 名時 先生

養心会三つの心

争わない心
拘わらない心
焦らない心

「とこなめ“で喜びの合宿交流会”
 杉江 満寿夫

11月15日(土)、16日(日)の両日、楊麻紗先生をお招きし、1000年の歴史のある「やきもの街」として、そして今、中部国際空港の臨空都市として注目されている愛知県の常滑市で合宿交流会が開催されました。

関東や関西地区の県外から、又県内の各地から、当初の予定を大幅に上回る170人余の同学が、市民アリーナ体育館に集結し、全体稽古、楊麻紗先生の模範演舞、参加者が4つのグループに分かれての、互いの演舞披露、初傳から師範の審査と、太極拳三昧の4時間が、あつという間に過ぎました。舞台上には「NPO法人太極拳養心会」楊家養心太極拳の「大横断幕」が掲げられ、楊名時先生の「夢」の字をあらわした太極のマークが煌然と輝きを放っていました。会場は心地よい気場に包まれ、癒しと喜びに満たされた空間が現出し、真の一体感を体験することができました。

会場を料理旅館に移しての夜の懇親会は、賑あり、踊りあり、寸劇ありの笑顔と笑顔、笑

いと笑い、初対面の人たちが、10年来の知己のように、語りあい、手をとりながら、肩を抱きながら喜び合う、奇跡のような不思議な空間と時間でした。圧巻は参加の108人全員が立ち上がり、会場を回る「フイナールの踊り」でした。全員が喜んでいてと現れるという、「喜びの精霊、エンジェル」が撮られた写真にたくさん写っていました。全員が喜び、そして「うれしい、たのしい、しあわせ」を感じていたので、宿泊のホテルに帰ってからも、興奮冷めやらぬまで語り明かした方が多かったです。

一夜明けて、近くの空港を望む海浜公園で海の気一杯に取り入れながら、太極拳を楽しましました。夜中から降り出した雨も、丁度そのときだけは一休みしてくれました。きつと楊名時先生からのプレゼントだったのでしよう。

昔の盛んなころの陶都跡の「やきもの散歩道」の散策、世界で一つしかない陶器を自分の手でつくる「陶芸体験」を楽しみました。

一年後に会ったときに、手を取り合って再び心を心から喜び合えるべりがいくつ出来た

ことでしょうか。これが本当の意味での「交流会」なのでしょう。多分、これは世界中どこをさがしても、どこにも無い、ここだけの、心と心の触れ合った交流会であつたと思います。また、一年後に会いましょう。ありがとう。 謝詞 再見



懇親会 フィナーレは全員で踊る

「とこなめ合宿交流会」の様子は、地元ケーブルテレビニュース「中日新聞(11月18日)」の知多版で紹介されました。

NPO法人太極拳養心会に

「楊家養心太極拳」は任意団体でしたが、今年の9月1日付で、「特定非営利活動法人太極拳養心会」という名称の法人となりました。NPO法人になることで社会的に信用され、会計基準もわかりやすくなりました。楊名時先生は今までも同じ「養心会」です。楊名時先生は太極拳の中で、役職の上下関係を作るのが好きではありませんでした。養心会では楊名時先生の意を汲んで、役職名はありませんが、あくまでも会員の皆様「お世話係」に徹したく思います。

楊名時太極拳を愛好する皆様が、等しく健康で幸せになるために、「心の絆」を大切に頑張っていきたいと思います。



海辺の早期稽古

役員紹介 写真左より
 理事長 楊 麻紗
 副理事長 山本 正芳
 副理事長 杉江 満寿夫
 副理事長 茶木 康晴
 副理事長 木村 鎮夫
 理事 山名 曉美
 理事 野田 久子
 理事 竹田 朝子
 監事 曾根田 千恵子
 監事 楊 砂織
 理事 高橋 裕子(撮影当日欠席のため写真には写っていません)



写真/服部洋之・榎原敬三

各地から

新潟 9月20日、阿賀野市で「合同演習会」が開催されました。当日は気になっていた台風も去り、曇りつつない爽やかな秋晴れとなりました。「本日は晴天なり」の楊名時先生のお言葉が聞こえそうです。

阿賀野市で初めて開かれた合同演習会には、大勢(140名)の仲間が集まって下さり、楊麻紗先生の実技指導に、「正しい動きを改めて認識できました」と、参加者に喜ばれました。

合同演習会の記事が、10月11日付の「あがの新聞」に載りました。



茶木康晴師範考案 「ケア・ヘルスタイチ」の演舞

大阪 なにわ友の会(高橋保会長 主催)の「第3回健康太極拳交流会」が、9月28日鶴見区民センターで開催されました。楊麻紗先生をお迎えし、東京、千葉、埼玉、神奈川、愛知、奈良、和歌山、大阪の先生方とその仲間も参加して頂き、総勢250名の大きな交流会となりました。

東京 10月12日、練馬区のサンライフ鍼灸体育館で、竹内彰一師範一門による「気功太極拳大会」が開催され、盛会でした。楊名時先生は毎年出席され、お亡くなりになってからは楊麻紗先生が出席されています。この大会は今年で26年目になりました。

奈良 26日、楊麻紗先生が奈良の村二可師範(83歳)の教室を訪れました。7月6日に約束しました「審査」を行うためです。通常稽古の中で行われた審査で、師範が誕生しました。高齢で頑張っている中村二可師範を、今まで以上に支えて頂き、奈良における養心会の基盤を固めて欲しいと思います。

※行事の詳しい様子は、養心会のホームページをご覧ください。

会員ニュース

茶木康晴師範
 家近くの熊取小学校の「なまよしタイム」で、健康太極拳の指導を行い、7月に学校からの礼状と子供達からの感想を頂きました。3年目に当る今年のテーマは、「心の太極拳」でした。

竹内彰一師範
 9月12日(土)18日まで、一行30名を率いて中国を訪れました。青島、済南、泰山、曲阜を回り、地元の人々の演舞披露を行い、友好を深めました。特に済南の交流の様子が、朝のテレビニュースで大きく取り上げられました。竹内彰一師範の太極拳を通しての日中交流は、30年近くになります。

野田久子師範
 10月25日、講師を務めるレディース大塚教室の「15周年祝賀会」が、東京・文京区の茗溪会館で開催されました。楊麻紗先生もお祝いに駆けつけて下さり、錦秋の夜の宴を楽しみました。

そして、出席者全員で20周年に向けて更なる太極拳の精進を誓い合いました。

吉野テル
 8月、埼玉県・志木短歌会定例会500回記念大会で、志木市長賞に輝きました。受賞作は「盛りあがるビールの泡をくちびるにつけて無邪気な卒寿の父は」です。お目出度うございました。

癒しの風景

岩城イヅキ
 旅行先でレバノン国境を越える時イスラム教のお祈りのため一時間程足止めされました。その間に八段錦と太極拳を一行に指導し、大変喜ばれ宣伝にも一役買いました。



原産地は中国。木の高さは2m~3mくらいで、花は蘭に似た芳香を放つ。名前は鮮紅工のような花が、梅の時に咲くことから名付けられたという。(写真/久野博美)

養心会の皆様
 変わらぬご支援・ご協力
 感謝いたします。
 来年もよろしく
 お願いいたします。
 NPO法人 太極拳養心会 理事長 楊 麻紗 役員一円
 (絵/高橋裕子)

お知らせ

2009年新年懇親会

楊家養心太極拳・NPO法人太極拳養心会の「2009年新年懇親会」を下記のとおり開催いたします。皆様のご出席を心からお待ちしております。

日時	2009年2月22日(日) 12:00~15:00(受付11:30~)
場所	グランドプリンスホテル赤坂 1F 赤瑛の間 着席ビュッフェスタイル
会費	10,000円
定員	130名
申込	教室単位。教室担当の先生方は、ご面倒でも出席者および会費の取りまとめをお願いいたします。(申込〆切2月12日、出席者名および会費を郵便書留で事務局へ送付)

＜交通のご案内＞
 グランドプリンスホテル赤坂
 〒102-8585 東京都千代田区紀尾井町1-2
 TEL 03-3234-1111
 ●地下鉄銀線丸ノ内線赤坂見附駅(赤坂地下歩道[D]紀尾井町方面口)から徒歩1分。
 ●南北線永田町駅(9-a口)隣接。
 ●半蔵門線永田町駅(7番口)から徒歩2分。
 ●有楽町線永田町駅(9-b口)から徒歩2分。
 ●麴町駅(麴町口)から徒歩5分。

ワッペン只今製作中!
 太極拳の中に、楊名時先生の「夢」の一字が息づく養心会のワッペン、12月中に出来上がります。値段や申込方法など詳しいことは、次号でお知らせいたします。
 ワッペンのデザインは、杉江満寿夫師範です。色合いが上品で、養心会にピッタリです。

ホームページ用原稿募集!!
 ホームページを更に充実したいと思っております。各地の行事、情報、レポート、写真等、事務局までお寄せ下さい。

●ホームページアドレス●
<http://www.taikyokuken.jp>

【募集要項】
 好評の定期指導者研修会は、11月で第13回になりました。今までは中国思想が中心でしたが、来年は「体」のしくみについても触れてみたいと思っておりますので、お体ご自愛下さい。新年のご多幸をお祈りいたします。(楊麻紗)

馬場 綱代 1万円
 三輪 敏子 4.8万円
 小山 廣治 1.2万円
 茶木 康晴 1.2万円
 なにわ友の会 13万円
 寄付を頂きました。